

## 令和 4 年度（2022 年度）事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

## 1 事業実施の方針

今年度は、前年度をもって退職した職員 2 名が従事していた 2 つの事業，そして，事業担当者の入れ替わりにより，新しい職員体制で取り組み始める年度となる。

前任者からの引き続き事項を活用し，円滑な活動が出来る事を目指して取り組んでいく年度にしたい。

## 【2022 年度せんだいアビリティネットワーク実施事業の枠組み】

事業名	事業内容	事業名・活動内容
1. IT 支援事業	1. IT 講習 (1. 仙台市バーチャル, 2. 宮城県) 2. IT サポート事業 (1. 仙台市重コミュ, 2. 宮城県) 3. パソコンボランティア業務 (宮城県)	障害者バーチャル工房事業 重度障害者コミュニケーション支援センター事業 障害者 IT サポートセンター事業
	4. IT 支援関連事業	1. 意思伝達装置等の機器販売 2. 収入獲得支援 (依頼対応)
2. 福祉支援事業	1. 自助・自立のための支援事業	協議のみ
	2. 福祉支援関連事業	福祉名刺 卓上カレンダー販売
3. 各種委託事業	1. ホームページ更新委託	ホームページ更新作業委託
	2. 伝の心カスタマーセンター業務委託	伝の心カスタマーセンター業務 レンタル品の検品業務
4. 資格認証事業	1. 重度障害者 ICT 支援コーディネータの資格認証	申請に対する審査・資格認証
5. 障害福祉サービス	1. 障害者就労継続支援 B 型事業所	生産活動機会の提供 就労に必要な知識や能力の訓練
6. その他助成事業	1. ソフトバンク・ソーシャルチャレンジ	研究開発や成果発表

## 1. IT 支援事業

前年度に引き続き，仙市委託分でのバーチャル工房事業（IT 講習 1. 1. 1. ）と重度障害者コミュニケーション支援センター（IT サポート 1. 2. 1. ），宮城県委託分となる「みやぎ障害者 IT サポートセンター（IT 講習 1. 1. 2. ・IT サポート 1. 2. 2. ・パソコンボランティア 1. 3. ）」の事業を通じて，定款に定めている IT 支援事業（IT 講習，IT サポート，パソコンボランティア）に取り組んでいく。

## 1. 1. IT 講習事業

## 1. 1. 1. 仙台市障害者バーチャル工房事業

仙台市障害者バーチャル工房事業では，引き続き「個人事業主を目指す」という方針を継続させ，専門的な講習に取り組んでいく。講習内容として，HTML・CSS 講座，二つの画像編集講座（ビットマップ画像・ベクター画像），動画編集講座，デザイン概論講座，2 次元 CAD に関する入門と応用講座，の計 7 講座を計画している。

また，前述の講座の開催ほか，講座後のフォローとして Google Meet や Zoom 等を用いたオンラインでのバーチャル工房活動への挑戦していく。

受講者数の見込みとして，1 講座あたり 5 名を見込んでおり，7 講座計 35 名を予定している。

## 1. 1. 2. みやぎ障害者 IT サポートセンター

前年度の仕様変更を引き継ぎ，集合研修である「IT 講習」と「スキルアップ研修」を統合した「障害者 IT スキルアップ講習」に取り組んでいく。また，集合研修に参加が困難な方向けの「障害者 IT 訪問講習」について，これまで通り取り組んでいく。

開催規模として、「障害者 IT スキルアップ研修」は概ね 1 回 3 時間程度の講習を 25 回以上とし、「障害者 IT 訪問講習」は 20 名に対して、1 人あたり 3 回以上（1 回 2 時間程度）を見込んでいる。

## 1. 2. IT サポート事業

### 1. 2. 1. 仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター

本事業の管轄である仙台障害者総合支援センターとの打ち合わせを通じ、今年度、特に注力したい 4 つの取り組みが次の①～④である。

#### ①障害児のコミュニケーション支援

- ・アーチルの後方支援
- ・相談内容や相談件数を記録する

#### ②支援機器の開発

#### ③人材育成

- ・研修講師，勉強会実施

#### ④情報発信

- ・ホームページの更新

①は、障害児への直接的な支援を展開するという意味ではなく、既に 18 歳未満の子供へコミュニケーション支援を展開しているアーチルに対し、技術的な助言や機材の紹介といった機会が発生した際に記録を付け、今後、子供のコミュニケーション支援に対するニーズや相談件数を「見える化」することが狙いである。

②は、現場のニーズに合わせたスイッチの加工・製作，ソフトウェアの制作といった，モノづくりに注力するといった意味である。昨年度の実績を鑑み，50 件の報告を目指す。

③は、現場のキーパーソンとなる当事者の家族，ヘルパー，リハ職等を対象に，講習や勉強会の機会を積極的に設けることで地域との連携を強化し，当事者の療養環境を取り巻く人材のコミュニケーション支援のスキルアップを目指す。昨年度の実績を鑑み，20～30 件の報告を目指す。

④は、ホームページを置いているレンタルサーバーのセキュリティを見直し，ホームページ運営の属人化を解消することが狙いである。

関連する取り組みとして，引き続き災害時個別支援を推進していく。

### 1. 2. 2. みやぎ障害者 IT サポートセンター

前年度からの変更点として，前年度まで従事していた職員の退職に伴い，新しい職員体制で運営していく。業務内容では，関係支援機関との協力体制のもと地域の要望を取り入れながら，宮城県全域を対象に，訪問・電話・FAX・メール・来所対応等により，障害のある方のパソコン等の IT 機器の利用支援を実施する。

### 1. 3. 「パソコンボランティア業務」

前年度に引き続き，宮城県障がい者福祉協会の協力のもと，「養成業務」の実施と「派遣業務」からなるパソコンボランティア養成等業務に取り組んでいく。

#### 養成業務

県民を対象にしたパソコンボランティア養成講座を宮城県障がい者福祉協会との連携により養成講座に取り組んでいく。

## 派遣業務

パソコンボランティア登録者の活動を支援するための事業である派遣事業を継続する。引き続き、活動を必要としている当事者とのコーディネート。ボランティア保険への加入。活動に要する費用などを支給するなどの業務を担っていく。派遣数については、概ね 50 件程度を見込んでいる。

### 1. 4. IT 支援関連事業

#### 1. 4. 1. 収入獲得支援事業

収入獲得支援事業については、就労継続支援 B 型事業所への参加により利用者負担が発生するなど、不利益が発生する障害者に対し、該当者が得意とする「キーガード製作」を中心に取り組む。

これまで取り組んできた横断幕等の「印刷関連」、「データ入力」については、積極的に就労継続支援 B 型での生産活動機会の提供や就労に必要な知識や能力等の訓練事項として取り組んでいく。

#### 1. 4. 2. 支援機器の導入支援

前年度に続き対応地域を仙台市内に特化させて支援機器導入支援を継続させる。

### 2. 福祉支援事業

「自助自立のための支援事業」と「福祉支援関連事業」からなる福祉支援事業に取り組む。

#### 2. 1. 自助自立のための支援事業

自助自立のための支援事業は、協議のみとする。

#### 2. 2. 福祉支援関連事業

福祉支援関連事業では、引き続き福祉名刺・卓上カレンダーの障害者作品の販売を継続すると共に、販路拡大を図っていく。

### 3. 各種委託事業

各種委託事業では、次の 1～2 について実施する。

#### 3. 1. ホームページ更新委託

就労継続支援 B 型事業所での取り組みの他、仙台市の委託事業であるバーチャル工房事業においても、オンラインでのバーチャル工房活動を試みる。二つの就労支援事業と連動させながらホームページ制作や更新作業に関する委託業務を継続させる。

#### 3. 2. 「伝の心」カスタマーセンター業務委託

「伝の心」カスタマーセンター業務を継続させる。取り組む業務として、従来の電話対応の他に、意思伝達装置のレンタル事業の検品・整備を実施する。

### 4. 資格認証事業

新 3 級に対応し、申請者に対し資格認証を実施する。今年度は 10 名程度を見込んでいる。

### 5. 障害福祉サービス

障害者総合福祉法に基づく就労継続支援 B 型事業所「せんだい庵」（1 日利用定員 20 名）を引き続

き運営していく。

工賃の発生する作業として、「Web 製作や更新作業」「カッティングシート加工」「文字・音声データ入力」「3D モデル作成・出力」「動画のデジタル化」「アンケート集計作業」「大判印刷」「写真撮影」「チラシ・パンフレット・イラスト作成」「封筒への封入作業」「画像加工」「動画編集」「ウェブアクセシビリティ検査業務」「キーガード制作関連」を提供し、作業量も増やしていく。また、「みやぎセルフ協働受注センター」に受注団体として登録し、安定した作業量の提供を試みる。さらに利用者の作品を Web サイト・SNS 等を使い公開し、利用者の就労や新規受注先獲得に働きかける。新たな生産作業の開拓にも取り組み作業量の底上げを試みていく。

さらに、利用者の知識・技能を高める訓練として、「書類作成」「画像加工」「動画編集」「HTML5 & CSS3」「ウェブアクセシビリティ」ならびに「WordPress を用いた Web 製作」「3D モデルの作成・出力」「カッティングシート作成」といった各プログラムに加え、就職を見据えた「スケジュール管理」「就労パスポートの作成」「面談練習」「ビジネスメール練習」などのプログラム、各リモートツールを用いた在宅ワークの訓練プログラムを提供していく。

また、さらなる利用者の獲得にあたっては、新型コロナウイルスへの感染対策の観点から訓練作業室内の三密回避につとめ、通所利用者は 1 日最大 6 名程度の参加となるよう調整し、主に在宅利用者に向けて募集をかけていく。また現在登録している利用者の利用頻度増加を目指す。

開所から 5 年目の今年度は、新型コロナウイルスの影響での社会変化へ柔軟な対応が求められる運営になると思われる。利用者の健康安全を第一とし、利用者の就労移行について各種評価ツールを活用しながら関係機関とも連携をはかり取り組んでいく。

今年度中に 1 日平均利用者数 10 人、平均月額工賃 5,000 円以上を目指す。

## 6. その他 助成事業等

### ソフトバンク・ソーシャルチャレンジ

ソフトバンクとの契約では、今年度が Pepper 無償貸与の最終年度となる。

コロナ禍の影響から、難病患者等への直接的なアプローチについては賛否が分かれている印象だが、難病当事者や関係者等から寄せられる期待の声には前向きに対応したいと考える。

特に、昨年度断念していた障害を持つ子供やその家族、支援者等へのアプローチを再度試み、ロボット活用の機会の再考と、教育の場面で有効なシステムを検討する。

以上の事業以外として、本法人の理事や会員の協力を得ながら新規会員拡大を本格的に推進してゆきたい。更に、各種助成金・補助金獲得の努力を続け、財政基盤強化を図ると共に、環境整備や各種事業の展開能力拡大を図ってゆく。

# 令和4年度（2022年度）事業計画書

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数	支 出 見込額 (千円)
<b>1. IT支援事業</b>						
1. IT講習事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IT講習 (ハブチャル)</li> <li>HTML・CSS</li> <li>ビットマップ編集</li> <li>ベクター編集</li> <li>動画編集</li> <li>2次元CAD入門</li> <li>2次元CAD応用</li> <li>デザイン概論</li> </ul>	4/1-3/31 (別途, 日程 計画による)	宮城県障害者 福祉センター等	2名	障害者  35人	9,273
	(ITサポートセンター) 集合講座 訪問講座		宮城県域	3名	障害者 延べ75人程度 20人程度	
2. ITサポート事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITサポート (重コミュ)</li> </ul>		仙台市内	6人	重度障害者 80人程度	
	(ITサポートセンター)		宮城県域	3人	障害者 延べ550人程度	
3. パソコンボランティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンボラ</li> <li>養成講座</li> <li>派遣事業</li> </ul>		宮城県域	2人	県民10人程度 障害者延べ50人程度	
4. IT支援関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援機器導入 支援</li> <li>I型</li> <li>・収入獲得支援 キーボード製作</li> <li>I型</li> </ul>	4/1-3/31 (随時)	・SAN事務局及 び障害者宅	2人	・ALS等患者 15人程度	2,650
				3人	・障害者 10人程度	
<b>2. 福祉支援事業</b>						
1. 自助・自立のための支援事業	協議のみ					
2. 福祉支援関連事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者作品販売 事業</li> <li>・福祉名刺</li> <li>・卓上カレンダー</li> </ul>	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	2人	・市民延べ160人	150

3. 各種委託事業						
・業務委託	1. HP更新委託 I型	4/1-3/31 (随時)	SAN事務局	3人	障害者3人	120
				3人		
	2. パシフィックサプライ株式会社 (伝の心コールセンター業務) I型		パシフィックサプライ株式会社仙台営業所	3人	障害者延べ300人	
4. 資格認証事業						
・重度障害者ICT支援コーディネータの資格認証	・新3級対応 ・申請への審査 ・資格認証	4/1-3/31 上半期及び 下半期の 計2回認証	SAN事務局	3人	学生10人	5
5. 障害福祉サービス						
・就労継続支援B型	・生産活動の機会提供 ・就労に必要な知識や技能の訓練	4/1-3/31	就労継続支援B型事業所内	4人	障害者 10人程度	1,896
6. その他						
・助成事業	ソフトバンクソーシャルチャレンジ	4/1-3/31		1人		

## 2022年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
<b>I 収入の部</b>			
<b>1 会費収入</b>			
個人正会員会費収入	150,000		
団体正会員会費収入	200,000		
個人賛助会員会費収入	20,000		
団体賛助会員会費収入	100,000		470,000
<b>2 事業収入</b>			
①IT支援事業収入			
・IT講習・サポート事業収入	41,865,390		
<バーチャル工房事業>		1,401,400	
<重度コミュニケーション支援事業>		24,986,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		15,477,990	
・IT支援関連事業収入 I型	5,500,000		
<支援機器導入支援>		5,000,000	
<収入獲得支援>		500,000	
②福祉支援事業収入	200,000		
・自助・自立のための支援事業収入		0	
・福祉支援関連事業収入		200,000	
③各種委託事業収入	3,000,000		
・ICT事務委託		0	
・ホームページ更新委託 I型		500,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		2,500,000	
④資格認証事業収入	30,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	16,544,800		
<訓練等給付費収入>		14,044,800	
<就労支援事業費収入>		2,500,000	67,140,190
<b>3 助成金・補助金収入</b>			
	0		0
<b>4 寄附金収入</b>			
	0		0
<b>5 雑収入</b>			
預金利子	500		500
<b>6 その他</b>			
	0		0
<b>当期収入合計(A)</b>			67,610,690
<b>前期繰越収支差額</b>			-2,643,421
<b>収入合計(B)</b>			64,967,269

科目	金額(単位:円)		
<b>II 支出の部</b>			
<b>1 事業費</b>			
①IT支援事業支出			
・IT講習・サポート事業支出	9,273,390		
<バーチャル工房事業>		741,400	
<重度コミュニケーション支援事業>		3,516,000	
<みやぎ障害者ITサポートセンター>		5,015,990	
・IT支援関連事業支出 I型	2,650,000		
<支援機器導入支援>		2,500,000	
<収入獲得支援>		150,000	
②福祉支援事業支出	150,000		
・自助・自立のための支援事業支出		0	
・福祉支援関連事業支出		150,000	
③各種委託事業支出	120,000		
・ICT事務委託		0	
・ホームページ更新委託 I型		100,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 I型		20,000	
④資格認証事業支出	5,000		
⑤障害福祉サービス(就労継続支援B型)	1,896,600		14,094,990
<b>2 管理費</b>			
人件費	46,692,000		
…人件費:事務局		1,000,000	
…人件費:バーチャル工房		660,000	
…人件費:コミュ支援		21,470,000	
…人件費:サポセン		10,462,000	
…人件費:カスタマーセンター I型		2,000,000	
…人件費:就労継続支援B型		11,100,000	46,692,000
事務局家賃	0		
通信費	220,000		
消耗品費	50,000		
備品費	20,000		
旅費・交通費	350,000		
印刷費	5,000		
理事会運営費	2,000		
総会運営費	2,000		
公租公課	3,500,000		
講習会等参加費	10,000		
交際費(慶弔費)	20,000		
宣伝・広告費	10,000		
支払手数料	10,000		4,199,000
<b>3 雑損失</b>			
	0		0
<b>4 予備費</b>			
	10,000		10,000
<b>5 その他</b>			
短期借入金	3,500,000		3,500,000
<b>当期支出合計(C)</b>			68,495,990
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>			△ 885,300
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>			△ 3,528,721



## 2022年度 就労継続支援B型事業 会計収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 せんだいアビリティネットワーク

科目	金額(単位:円)		
<b>I 収入の部</b>			
<b>1 訓練等給付費収入</b>	<b>14,044,800</b>		
平均利用者数:10名/日			
利用日数:20日/月			
作業時間:4時間/日			
訓練等給付金:5,852円(1日当たり換算)			
			14,044,800
<b>2 就労支援事業費収入</b>			
<b>①IT支援事業収入</b>			
・IT支援関連事業収入 II型	<b>200,000</b>		
＜支援機器導入支援＞		0	
＜その他(印刷関連、データ入力等)＞		200,000	
<b>②各種委託事業収入</b>	<b>1,300,000</b>		
・ホームページ更新委託 II型		1,300,000	
・伝の心カスタマーセンター業務委託 II型		0	
<b>③その他</b>	<b>1,000,000</b>		
			2,500,000
<b>当期収入合計(A)</b>			<b>16,544,800</b>
<b>前期繰越収支差額</b>			<b>-9,192,422</b>
<b>収入合計(B)</b>			<b>7,352,378</b>
<b>II 支出の部</b>			
<b>1 事業費</b>			
<b>①工賃 一人当たり5,000円/月</b>	<b>720,000</b>		
・IT支援関連事業			
・各種委託事業			
・その他			
<b>②就労支援事業費</b>	<b>50,000</b>		
			770,000
<b>2 管理費</b>			
従業員給与	<b>11,100,000</b>		
支援員3人分		9,000,000	
支援員3人分 事業所負担保険料		1,300,000	
支援員1人分(週2日)		800,000	11,100,000
事業所賃貸料(光熱費込)	<b>606,600</b>		
通信費	<b>100,000</b>		
消耗品費	<b>100,000</b>		
交通費	<b>30,000</b>		
PCリース	<b>10,000</b>		
備品費	<b>100,000</b>		
保険料	<b>170,000</b>		
研修会等	<b>10,000</b>		
			1,126,600
<b>当期支出合計(C)</b>			<b>12,996,600</b>
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>			<b>3,548,200</b>
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>			<b>-5,644,222</b>